

(履-3) 自学自習の記入の必要がない科目：履修・本科学修及び専攻科の実験実習（授業内容部分に罫線なし）

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation Research	
開講年度・学期	平成 24 年度・通年	対象学科・専攻・学年	機械工学科5年	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	1 1	単位種類	履修単位（30時間単位）	
担当教員	機械工学科全教員	居室（もしくは所属）	機械工学科	
電話	各教員	E-mail	各教員	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件	
1年から4年で学んだ知識や技術をもとに、1つのテーマに取り組み、問題解決の方法を習得する。		(A-1) (A-2) (A-3) (B-1) (B-3) (D-2)	d-2-a,b,c),(f),(g),(h)	
1. 研究に関する資料を収集・調査し、研究計画を立てられる。				
2. 問題点を把握し、それを解決する方法を見つけられる。				
3. 研究の成果を学校内の発表会で発表できる。				
4. 学術的研究の成果を文章化してまとめることができる。				
<b>各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法</b>				
1～4. 卒研ゼミ、定例研究発表、中間発表、最終発表、卒業研究の内容により総合的に評価する。				
<b>評価方法</b>				
1. 指導教員は卒研ゼミ、定例研究発表、中間発表、最終発表、卒業研究の内容により総合評価を行う。 2. 最終発表後、概要集、プレゼンテーションについて主査1名、副査2名で採点を行う。 3. 全教員の合意により合格、不合格の最終評価を行う				
<b>授業内容</b>				
1. 研究室において、学生の希望や適性に応じて、研究テーマを決める。 2. ゼミ等を通して、研究の進め方、実験方法、実験装置の設計・製作、試料の製作、実験計画等の指導を受け、主体的に研究を進める。 3. 学科として、卒業研究に関して3回の発表会（6月：定例研究発表、11月：中間発表、2月：最終発表）を実施する。最終発表では研究の概要をまとめて、提出する。				
キーワード	創造性、問題解決能力			
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	各テーマによる			
現学年の関連科目	各テーマによる			
次年度以降の関連科目	各テーマによる			
<b>連絡事項</b>				
1. 4年生で研究室の紹介があり、教員が適宜に相談に応じるので、あらかじめ相談すること。また、5年生の中間発表や最終発表は必ず聴講すること。 2. 5年間で学んだことをもとに、研究の計画を立てて、主体的に取り組むこと。				
シラバス作成年月日	平成 24 年 2 月 28 日			

